



MUSASHI

CD-ROM/FD PA-1100通信ソフト

取扱説明書

5924	CD-ROM	通信ソフト
5913	FD	PA-1100



注意

- ・御使用になる前に必ずお読みください。
- ・本書は大切に保管してください。

VOL.1

8131-004ST010

目次

第1章 お使いになる前に	1. 取扱説明書に関する注意事項3
	2. 輸出する際の注意事項3
	3. 必要な環境について4
第2章 セットアップを行います	1. セットアッププログラムの起動6
第3章 セットアッププログラムの 終了	1. セットアップの終了12
	2. 通信ソフトの起動を確認します13
第4章 通信ソフトの操作について	1. ファイル管理について16
	2. メニューとアイコンの機能17
	3. グラフ機能21
	4. シート表示について24
	5. 操作の流れ24
	操作上の注意24
	プロジェクトファイルを作成・開く25
	本体へ設定します28
	本体から計測データ受信します32
	計測データをデータ変換します33
	計測データをシート表示します34
	計測データをグラフ表示します37
	シートデータを印刷します39
	グラフデータを印刷します。40

1

第1章 お使いになる前に

1. 取扱説明書に関する注意事項3
2. 輸出する際の注意事項3
3. 必要な環境について4

お使いになる前に

この度は、PA-1100パワーアナライザ用通信ソフト（以下通信ソフト）をお買いあげ頂き誠に有り難うございます。本書は、通信ソフトの取扱説明書です。

本通信ソフトは、PA-1100への設定データの送信や計測データの受信などデータを有効利用していただく為の豊富な機能を取り揃えています。

実際にご使用頂く前に本書をよくお読み頂き正しいご使用をお願いします。

【著作権】

1. 『PA-1100 通信ソフトVer2.3』（プログラム及び関連ドキュメントを含む）の著作権は、（株）ムサシインテックに帰属します。
2. 『PA-1100 通信ソフトVer2.3』は有償でのご利用となります。お買い求め頂いたお客様以外の方への営利を目的とした貸し出しは固く禁じます。
3. 転載及び雑誌・商品などを添付して再配布する場合には、（株）ムサシインテックの承諾を必要とします。再配布については、（株）ムサシインテック営業部までご連絡下さい。
4. 『PA-1100 通信ソフトVer2.3』には改変を加えないで下さい。

◆Pentiumは米国インテル社の登録商標です。

◆Microsoft、Windows及びVisual Basic、Excel、インターネットエクスプローラ Ver4.0 (SP1) は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国に於ける登録商標です。

◆びじゅあるQUERY Ver1.0、びじゅあるRETURN Ver1.0は、（株）エムエムシーサーチの登録商標です。

◆ActiveBar Ver1.0、InstallStudio Ver7.0Jは、文化オリエント株式会社の登録商標です。

◆VS-VIEW Ver3.0は、文化オリエント株式会社の登録商標です。

◆Lotus1-2-3は、Lotus Development Corporationの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

【PA-1100 通信ソフトのセットアップ対象】

1. PA-1100通信ソフトは、お客様が、ご購入されたPA-1100電力アナライザ各1台に対し、PA-1100通信ソフト各1セットのご使用となっています。
2. 本通信ソフトには、測定対象に対するファイル作成、管理ができ、そのファイルをもとに、PA-1100を初期セットが行えます。
3. 複数台のPA-1100とパソコンとの組み合わせで、お使いになられる場合は、PA-11001台に対し本通信ソフトを1セットご購入していただき、セットとしてご使用下さい。
4. お客様におけるPA-1100対応の本通信ソフトのセットアップされた、パソコンの変更、入れ替えに対しては、PA-1100とペアにした、通信ソフトにて、再セットアップを行っていただきますので、PA-1100側付属品として、大切に保管していただくようお願いします。

お使いになる前に

1.取扱説明書に関する注意事項

1. 本書の内容の一部または全てを無断で他に転載することは禁止されています。
2. 製品の本来の使用方法及び、本書に規定した使用方法以外での使用に関しては安全上の保証はできかねます。
3. 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
4. 本書に記載された画面内容と実際の画面は一部異なることがあります。
5. 本書に記載された図は一部省略や抽象化して表現している場合があります。
6. 本書の内容に関しては万全を期していますが、不審な点や誤り記載漏れなどにお気づきのときは、技術サービスまでご連絡下さい。

2.輸出する際の注意事項

本通信ソフトは、日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。本通信ソフトを日本国外で使用された場合の海外での保守及び技術サービス等は、行っておりません。

お使いになる前に

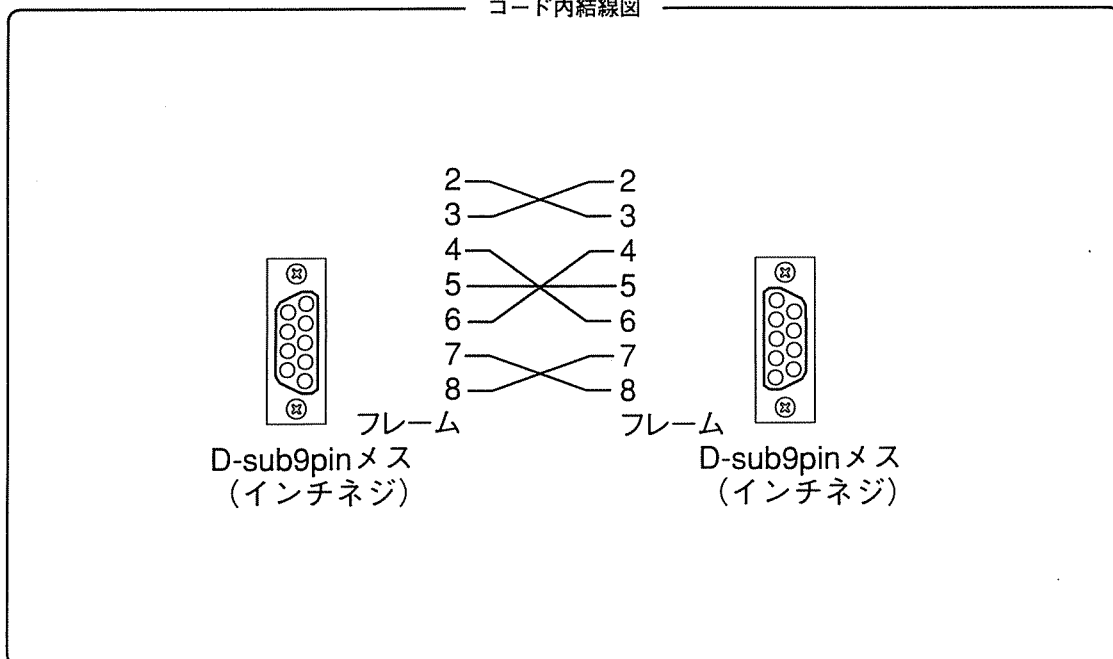
3.必要な環境について

本通信ソフトを使用するためには、下表の環境が必要となります。セットアップを行う前に必ず確認願います。

OS	Windows95/98 インターネットエクスプローラー4.0 (SP1) 以上
CPU	Pentium 120MHz以上を推奨します
メモリ	24MB以上 (32MB以上を推奨します)
ハードディスク空き容量	10MB以上
モニター	解像度800×600ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ
CD-ROM/FD	1,44MByte/2HD 1,44MByte (インストール時に必要)
※RS-232C	COMポート D-sub9ピン、25ピンが必要
※接続ケーブル	D-sub9ピン-D-sub9ピン クロス (リバース) ケーブル

- ※ パソコン側のコネクタがD-sub25ピンの場合は、別途D-sub25ピン→9ピンの変換コネクタをご用意ください。
- ※ ディスプレイの表示フォントサイズが“大きいフォント”に設定されている場合に正常に表示しない場合があります。
- ※ **PA-1100**本体とパソコンを接続するケーブルは、下記仕様をお確かめの上、別途ご用意ください。
{ 当社でも、別売りオプションとして準備しております。 }
(PA-1100 RS-232Cケーブル)

コード内結線図



2

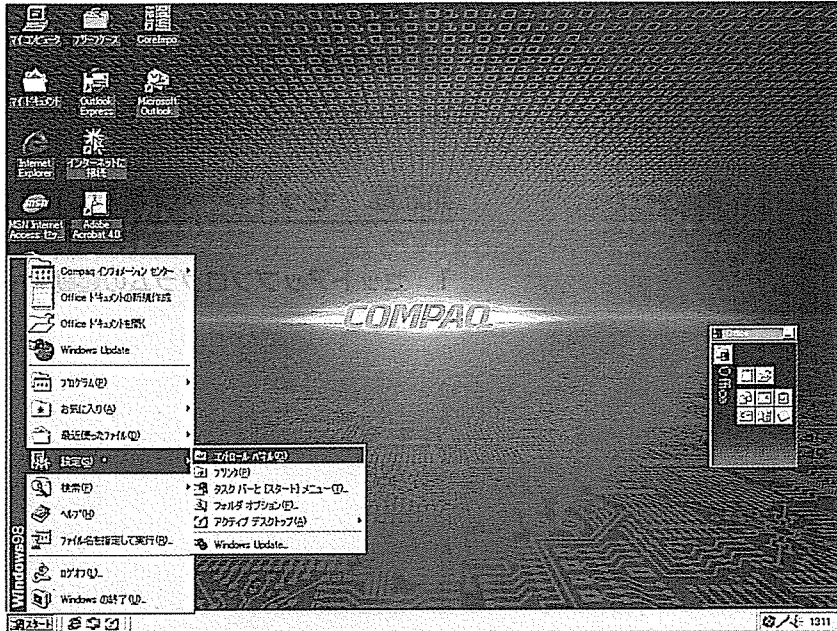
第2章 セットアップを行います

1. セットアッププログラムの起動6

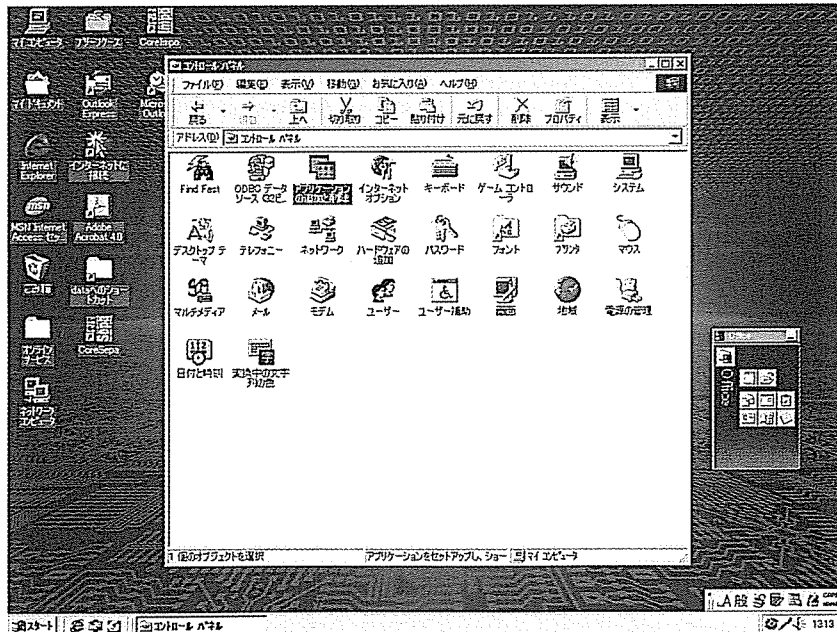
セットアップを行います

1. セットアッププログラムの起動

①「スタートメニュー→設定→コントロールパネル」と選びます。



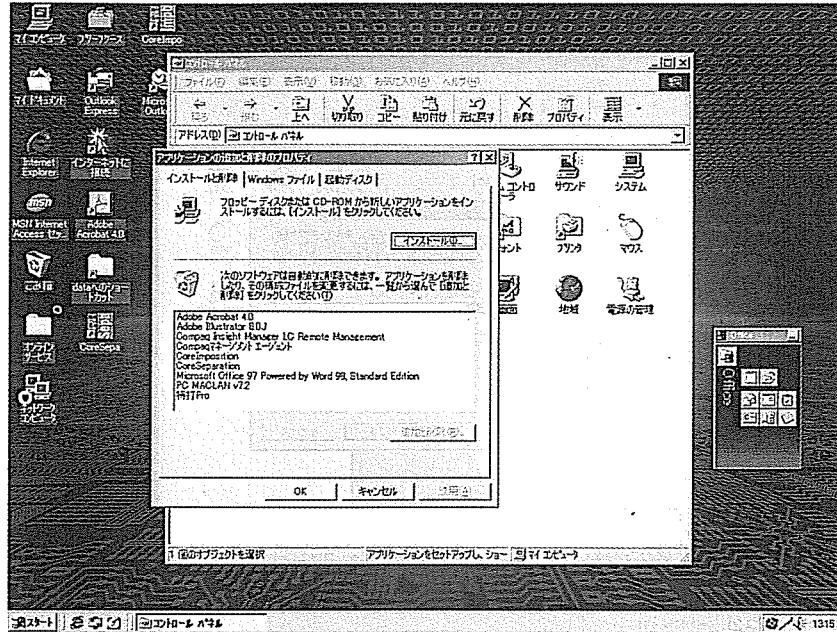
②コントロールパネル中より **アプリケーションの追加と削除** を選びます。



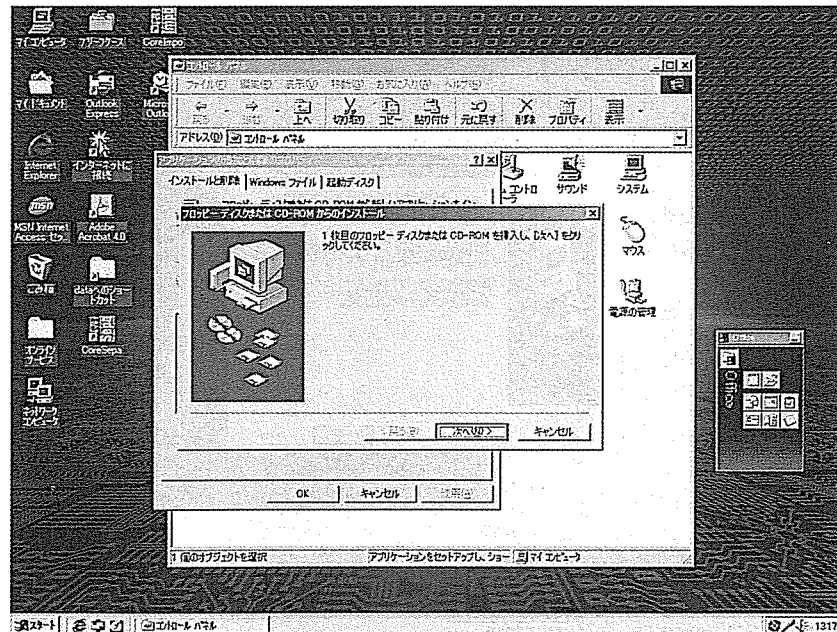
セットアップを
行います

セットアップを行います

- ③ 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されたら **インストール (I)** をクリックしてください。



- ④ 「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」の画面が表示されたらCD-ROMをドライブに挿入し **次へ** をクリックして下さい。(FDの場合：フロッピーディスク：Disk 3をフロッピーディスクドライブに挿入し **次へ** をクリックして下さい。)



セットアップを行います

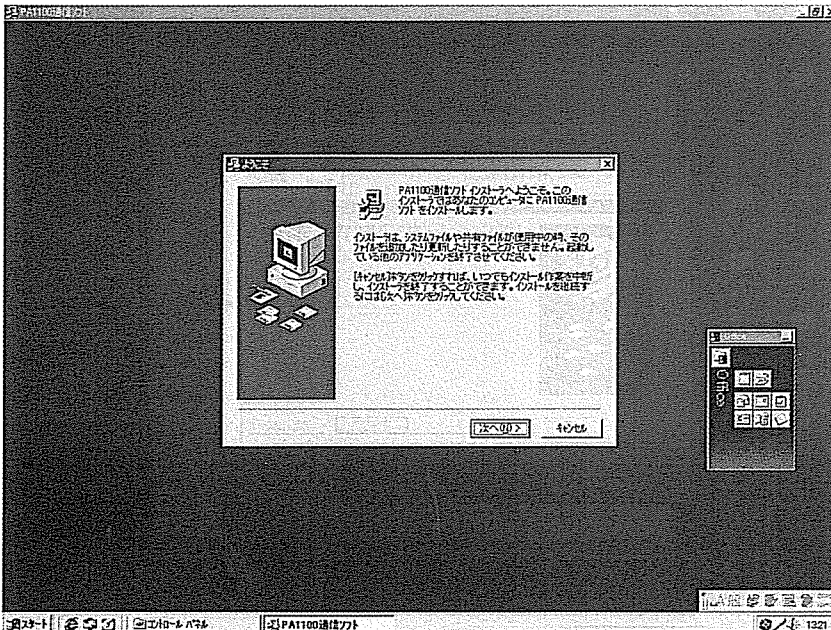
セットアップを行います

⑤ 「インストールプログラムの実行」の画面が表示されたら **完了** をクリックしてください。



セットアップを
行います

⑥ 「ようこそ」というセットアップ画面が表示されましたら **次へ** をクリックしてください。

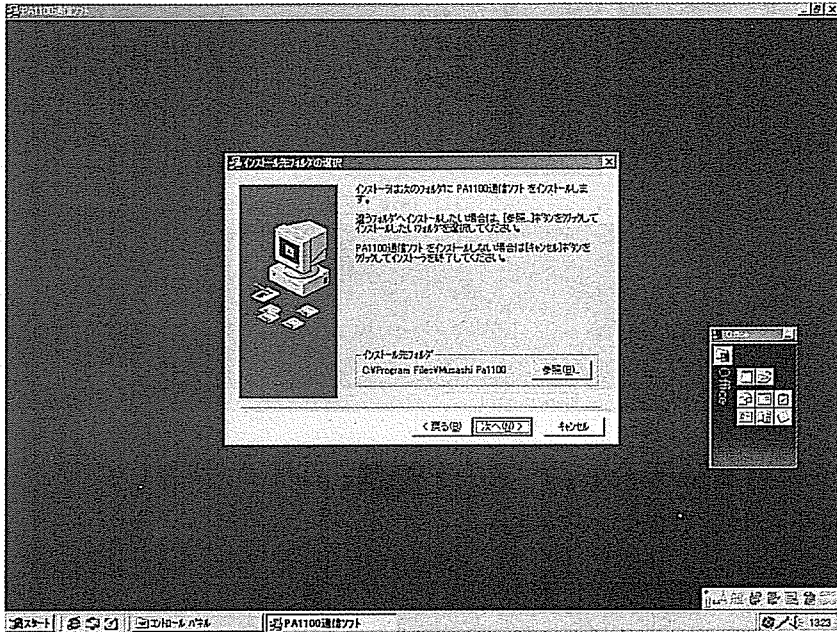


セットアップを行います

⑦「インストール先フォルダの選択」画面が表示されます。セットアップするフォルダは自動的に設定されます。そのまま **次へ** をクリックしてください。

◆セットアップ先のフォルダを変更する場合

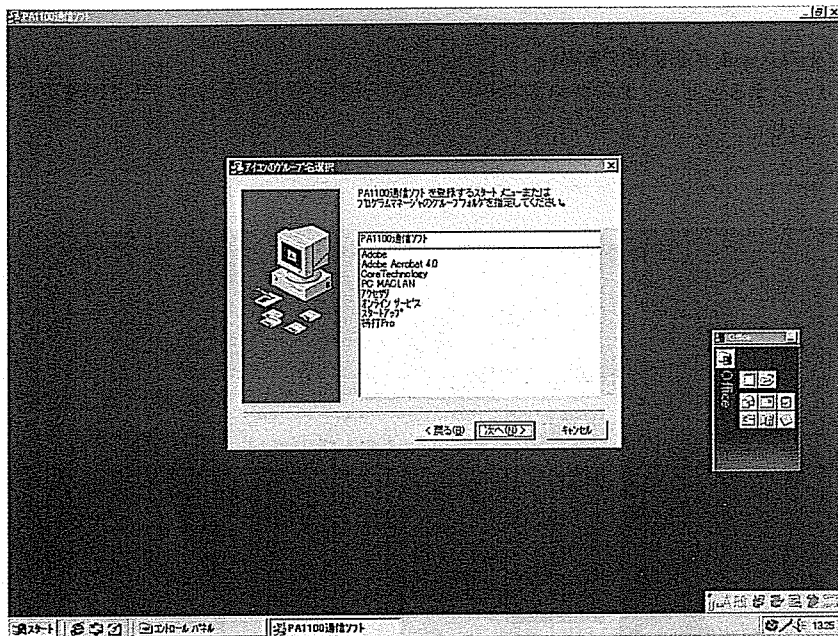
参照 をクリックするとセットアップするフォルダの変更画面が表示されます。ここで変更したいフォルダを選択してください。



セットアップを行います

セットアップを行います

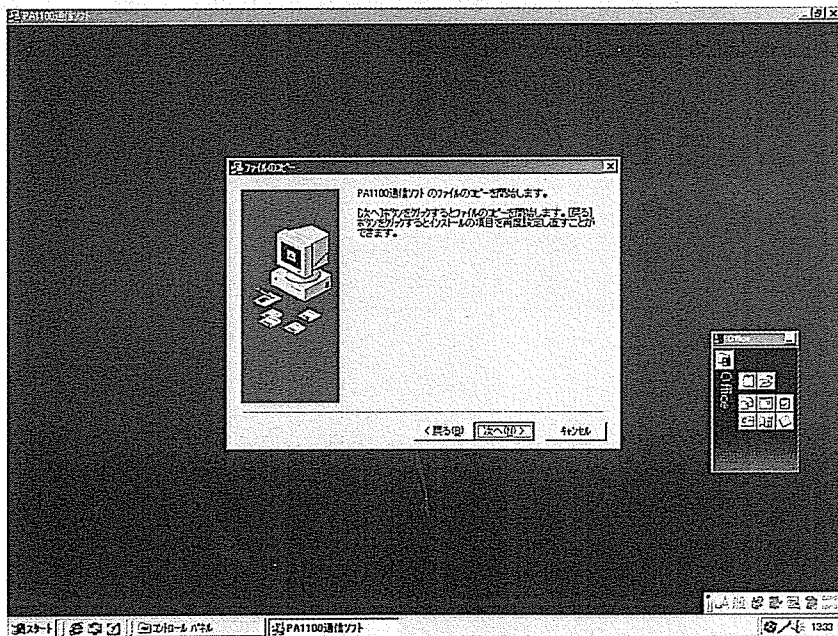
⑧ 「アイコンのグループ名選択」の画面が表示されます。そのまま **次へ** をクリックしてください。



セットアップを
行います

⑨ 「ファイルのコピー」画面が表示されます。そのまま **次へ** をクリックしてください。

以後は、メッセージに従って操作してください。



3

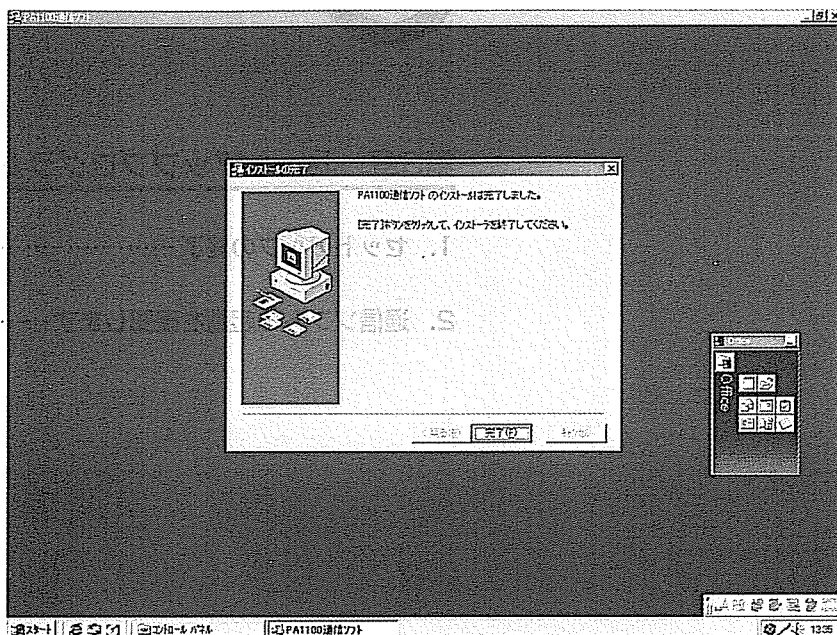
第3章 セットアッププログラムの終了

1. セットアップの終了……………12
2. 通信ソフトの起動を確認します……………13

セットアッププログラムの終了

1. セットアップの終了

①「インストールの完了」画面が表示したら **完了** をクリックします。



セットアップ
プログラムの終了

②Windowsを再起動してください。

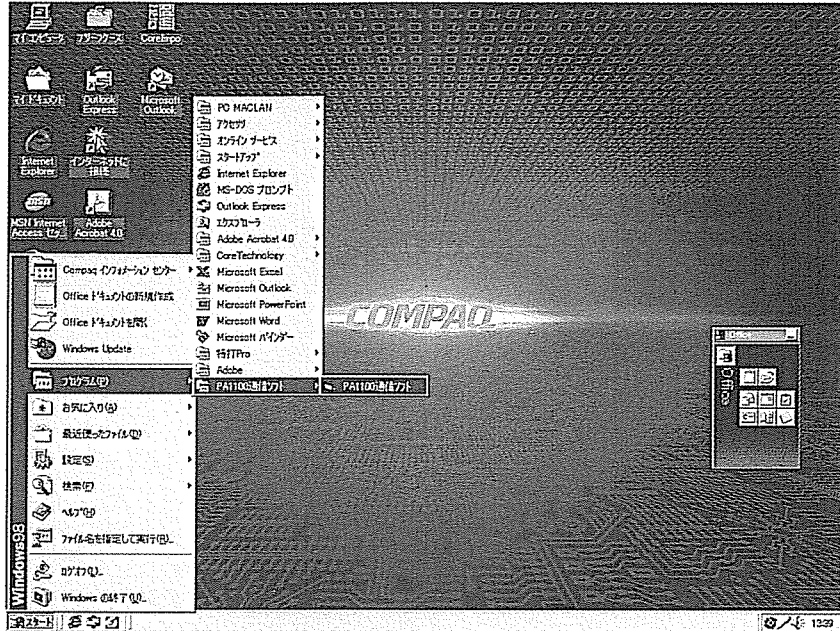


PA-1100通信ソフトをお使いのパソコンに、別のソフトをインストールされた場合、一部のファイルが書き換えられてしまい、PA-1100通信ソフトが起動しなくなることがあります。この場合には、お手数ですが、PA-1100通信ソフトを、再度インストールしてからお使いください。

セットアッププログラムの終了

2. 通信ソフトの起動を確認します

① 「スタートメニュー→プログラム→PA-1100通信ソフト→PA-1100通信ソフト」をクリックします。



セットアップ
プログラムの終了

4

第4章 通信ソフトの操作について

1. ファイル管理について	16
2. メニューとアイコンの機能	17
3. グラフ機能	21
4. シート表示について	24
5. 操作の流れ	24
操作上の注意	24
プロジェクトファイルを作成・開く	25
本体へ設定します	28
本体から計測データを受信します	32
計測データをデータ変換します	33
計測データをシート表示します	34
計測データをグラフ表示します	37
シートデータを印刷します	39
グラフデータを印刷します	40

通信ソフトの操作について

1. ファイル管理について

本通信ソフトは、プロジェクトファイル、ユーザー登録ファイル、データファイルの3つのファイルを管理しています。管理の体系としてプロジェクトファイルがユーザー登録ファイルを管理しユーザー登録ファイルがデータファイルを管理するという体系を採っています。

プロジェクトファイル

本通信ソフトを運用するにあたっての最も基本となるファイルです。従ってこのファイルを作成しなければ通信やデータ変換などの操作を行うことはできません。またこのファイルには最大10件までのユーザー登録をすることができます。このファイルの格納場所はお客様が任意に決めていただくことができます。(格納場所は、なるべくハードディスクを使用してください。)

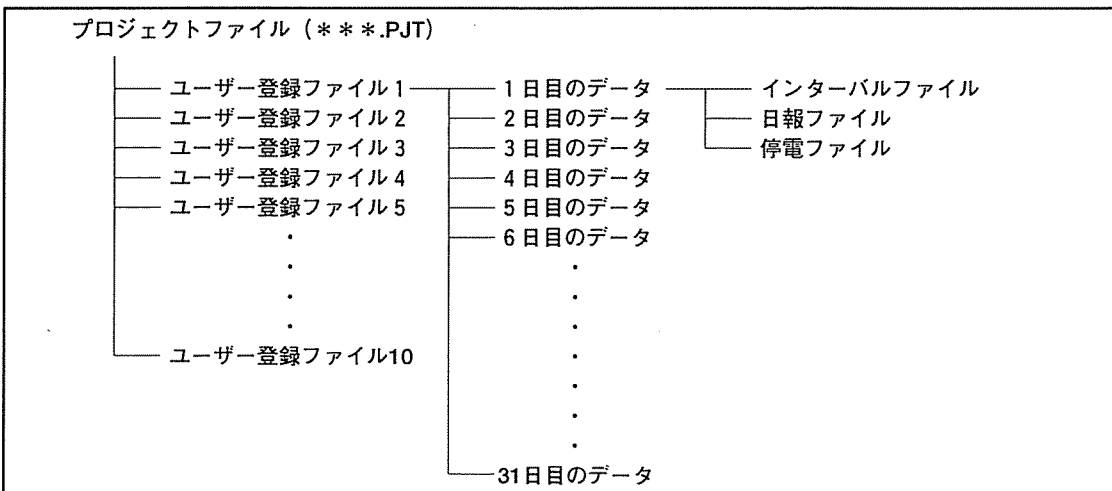
ユーザー登録ファイル

このファイルは、データファイル（インターバル、日報、停電）を最大31日分管理できるファイルです。このファイルの特徴としては場所や変電所名などの名前管理していただくことを目的としたファイルで実際の操作としてはファイル名では無く名前管理します。このファイルの格納場所は先程のプロジェクトファイルを作成した場所と同じドライブ（フォルダを指定したら同じフォルダ）に作成されます。このファイルをエクスプローラ等のマネージメントソフトウェアにより削除してしまいますと本通信ソフトは正常に起動することができませんので取扱いには十分ご注意ください。

データファイル

このファイルはインターバルデータファイル、日報データファイル、停電ファイルのいずれかのファイルのことです。このファイル1個に1日分のデータが含まれています。このファイルは「Excel」形式への変換やグラフ描画などに使用します。このファイルの格納場所は、先ほどのプロジェクトファイルを作成した場所と同じドライブ（フォルダを指定したら同じフォルダ）の“ユーザー名の計測データ”というフォルダに格納されます。ユーザー登録ファイルと同様にこのファイルを削除してしまいますと本通信ソフトは正常に起動することができませんので取扱いには十分ご注意ください。

ファイル管理体系図



通信ソフトの操作について

2. メニューとアイコンの機能

本通信ソフトの操作は、メニューのクリックによる操作とアイコンボタンのクリックによる操作の2種類に分かれます。以下に機能の説明をします。

《メニュー機能》

ファイル

・プロジェクトを開く

ファイル選択ダイアログボックスを表示し、お客様の指定したプロジェクトファイルを開きます。但しファイル名の変更や削除をしてしまいますと、以前取ったデータが見られなくなるので注意してください。

・プロジェクトを閉じる

開いているプロジェクトファイルを閉じます。

・データ変換

データファイルをエクセルや、「Lotus」で読める形式のファイルに変換します。1日単位で選択可能で複数日まとめて変換する事も可能です。変換後のデータは、お客様の指定した“ユーザー名のフォルダ”に格納されます。

・印刷プレビュー

シート表示されたデータの印刷イメージを表示します。ここではお客様の使用に合った印刷フォーマット（ページの変更、拡大縮小等）で印刷する事が可能です。

・印刷

印刷プレビューされたシートの印刷やグラフ画面の印刷をします。
印刷用ダイアログボックスが表示され印刷部数等の設定が可能です。

・終了

本通信ソフトを終了します。

設定



- ・設定を行う前に必ず通信ポートの設定を行ってください。
- ・計測条件の送信を行う前に必ず時計を送信してください。時計を送信せずに計測条件を送信しますと本体のカレンダー機能が正常に動作しません。また計測条件を送信し本体が計測中の状態に入るとそれ以後、設定データの送信ができなくなりますのでご注意ください。

通信ソフトの操作について

・時計

パーソナルコンピュータが持っているシステム時計もしくはお客様が設定した任意の時間を送信します。時計の設定範囲は1999年1月1日から2098年12月31日までです。

・計測条件

1. 計測日の設定

任意の計測日から1年先まで最大31日設定することができます。但し送信を1回で行わないと本体が計測状態もしくは計測待機状態に入りそれ以降送信が不可能になるので注意してください。

2. 測定時間の設定

開始時間は0～23時、終了時間は1～24時の間で設定できます。お客様の仕様にあった測定時間を設定してください。

3. インターバルタイムの設定

5/10/15/30/60分の中から選択し設定できます。この時間は本体が計測データとしてメモリする時間間隔の設定のことです。

4. 結線モードの設定

単相2線/単相3線/三相3線/三相4線の中から選択し設定できます。お客様の仕様にあった結線を選択し設定してください。

5. PT/CT比設定

1から1000の間で任意に設定できます。お客様の変圧器/変流器の仕様にあった値を設定してください。

6. インターバルデータの設定

電圧 V1、V2、V3、Vav

電流 I1、I2、I3、Iav

有効電力 W1、W2、W3、W

皮相電力 VA1、VA2、VA3、VA

無効電力 Var1、Var2、Var3、Var

力率 PF1、PF2、PF3、PF

周波数 FQ

これらの中から最大12項目選択できます。お客様の仕様にあった項目を設定してください。

・その他

1. ブザーの設定

ON/OFFの何れかを選択することができます。ONにしますと本体のキースイッチ等を押したときブザーを鳴らすことができます。

2. バックライトの設定

ON/OFFの何れかを選択することができます。ONにしますと本体のLCDバックライトが点灯します。

通信ソフトの操作について

・画面レイアウト

本体が持っている7つの瞬時値画面のすべての画面設定をすることができます。1画面から6画面までは4表示/12表示の切り換えや項目の入れ替え等が可能です。7画面に関しては積算値表示用となっているため4表示/12表示の切り換えはできません。

・通信ポート

COM1/2/3の何れかを設定することができます。お客様のパーソナルコンピュータの設定と合わせて設定してください。

パソコンの通信ポートを（COM1～3）選択をします。

編集

・コピー

グラフが表示されているときのみ有効な機能です。画面表示をクリップボードにコピーします。他のアプリケーション等で貼り付け（ペースト）を実行するとグラフ画面を見る事が可能です。

表示

・ツールバー

書式設定

1.フォント

シート表示及びプレビュー表示のフォントを設定/変更します。但しフォントによっては表示できない文字があるのでご注意ください。

2.フォントサイズ

シート表示及びプレビュー表示のフォントサイズを設定/変更します。但しあまり大きなサイズにするとプレビュー表示のフォーマットが見づらくなるのでご注意ください。

3.太字

シート表示及びプレビュー表示の文字を太字に設定/解除します。

4.斜体

シート表示及びプレビュー表示の文字を斜体に設定/変更します。

ツール

・倍率の変更

PT/CT比を1から1000の間で任意に設定しシート表示、グラフ表示のデータを変更することができます。お客様の仕様に合った値に設定してください。変更されたPT/CT比はデータファイルに保存することができます。変更後、違う日のデータを開こうとしたりプロジェクトを閉じる時に保存するかどうかの確認をとりましますので必要に応じて保存してください。

ヘルプ

・バージョン情報

本通信ソフトのバージョン情報を表示します。

通信ソフトの操作について

《アイコン機能（メイン）》

印刷アイコン

メニュー機能の印刷と同じ働きをします。

プレビューアイコン

メニュー機能の印刷プレビューと同じ働きをします。

計測データ読込アイコン

このアイコンを選択しますと、まず本体の計測状態の受信をします。計測データのある月と日や本体の設定状態が受信できますので、その中からお好きな日を選択して受信してください。

編集データの選択アイコン

このアイコンを選択しますと編集データの選択画面が表示されますので、お客様がシート表示やグラフ表示したいデータ日を選択してください。

グラフ表示アイコン

編集データの選択で決定された日のインターバルデータをグラフ表示します。

シート項目アイコン

編集データの選択で決定された日のインターバル/日報/停電データの何れかをシート表示します。

《アイコン機能（印刷プレビュー）》

拡大表示アイコン

プレビュー表示を拡大します。1回押す毎に10%ずつ拡大していきます。設定範囲は、10~200%です。

縮小表示アイコン

プレビュー表示を縮小します。1回押す毎に10%ずつ縮小していきます。設定範囲は、10~200%です。

用紙方向アイコン

プレビュー表示する用紙の縦・横を切り替えます。

通信ソフトの操作について

3. グラフ機能

グラフ設定保存

グラフ画面左上にあるフロッピーディスクアイコンをクリックすると、グラフ画面表示数、表示項目、手動スケール値、グラフ表示線種、X軸設定、Y軸設定を保存する事ができます。



測定インターバルデータ項目が異なる測定データを読み込んだ場合は、表示測定項目はクリアされます。

グラフ数の変更

グラフ画面左上にありますフロッピーディスクアイコンの右となりの数値がグラフ画面表示数を表わしています。この数値を変えることによりグラフ画面表示数を1枚または、2枚に変更できます。



既に表示項目が選択されているときにグラフ数を変更すると、設定されていた表示項目はクリアされます。

表示項目選択

マウスの矢印がグラフの上にある時マウスを右クリックするとメニューが表示されます。その中にある表示項目選択を選びますと表示項目の変更画面が表示されデータ項目、スケール値、データ線表示スタイルを任意に設定することができます。(グラフ数が2枚の場合はそれぞれのグラフに別の設定となります。)

1. スケール値の自動/手動設定

表示項目の変更画面内にある自動/手動のチェックボックスの状態によりスケール値を自動設定するか手動で設定するかが決まります。

2. 表示データ項目

電圧	V1、V2、V3、Vav
電流	I1、I2、I3、Iav
有効電力	W1、W2、W3、W
皮相電力	VA1、VA2、VA3、VA
無効電力	Var1、Var2、Var3、Var
力率	PF1、PF2、PF3、PF
周波数	FQ
積算値	Wh、VAh、Varh

これらの中から

グラフ数が“1”の場合：最大12項目

グラフ数が“2”の場合：最大8項目

が選択できます。

3. スケール表示

最大7スケール表示を設定できます。また、電圧、電流、各電力については2項目以上選択しますと単位を一括にでき、1本のスケールで表示できます。なおスケールは、各項目中最大のスケール値になります。

通信ソフトの操作について

4. スケール値

自動スケールは各測定データの最大値より、最適のスケール値が自動で設定されます。
手動スケール選択時では以下の各範囲で設定できます。

電圧	0～99.99 kV
電流	0～1000 kA
有効電力	0～999.9 MW
皮相電力	0～999.9 MVA
無効電力	0～999.9 MVar
積算値	0～999.9 MWh、MVAh、MVarh

「適用」ボタンをクリックすると入力値に対して上記の範囲によりスケール値が反映されます。

5. データ線表示スタイル

各データ項目の線のイメージ表示上で右クリックすると、グラフスタイル、線種、線の太さ、線の色が変更できます。

グラフスタイル	折れ線グラフ/棒グラフ
線種	実線/破線/点線/1点鎖線/2点鎖線
太さ	細線/太線/極太線
色	64色(基本色)または、作成した16色

上記の中から選択してください。

また「初期値」ボタンをクリックすると初期の設定スタイルとなります。

又、グラフスタイルで棒グラフを選択した場合は、1画面で複数のデータを選択すると重ねて表示し、見づらくなりますので、棒グラフでは、1画面に、1データの選択としてください。

X軸設定

マウスの矢印がグラフの上にある時マウスを右クリックするとメニューが表示されます。その中にあるX軸設定を選びますとX軸設定画面が表示され目盛軸(主目盛時間、補助目盛表示)、線種(スタイル、太さ、色)が任意に設定することができます。

1. 目盛軸

- ・主目盛時間

X軸の目盛線の間隔を決定します。1/2/3/4/6/8/12/24時間から選択することができます。

- ・補助目盛表示

X軸に補助目盛を表示するかを決定します。

2. 線種

- ・スタイル(線種)

X軸の目盛線の線種を決定します。線種は表示項目の選択と同じになります。

- ・色

X軸の目盛線の線色を決定します。線色の種類は表示項目の選択と同じになります。

Y軸設定

マウスの矢印がグラフの上にある時マウスを右クリックするとメニューが表示されます。その中にあるY軸設定を選びますとY軸設定画面が表示され目盛軸（主目盛本数、全グラフ統一）、線種（スタイル、太さ、色）が任意に設定することができます。

1. 目盛軸

- ・主目盛本数

Y軸の目盛線の間隔を決定します。1～20本の間で任意に設定することができます。

- ・全グラフ統一

グラフが2つ表示されているときにグラフの目盛設定を同じにするか、個々に設定するかどうかを決定します。

2. 線種

- ・スタイル（線種）

Y軸の目盛線の線種を決定します。線種は表示項目の選択と同じになります。

- ・太さ

Y軸の目盛線の太さを決定します。太さの種類は表示項目の選択と同じになります。

- ・色

Y軸の目盛線の線色を決定します。線色の種類は表示項目の選択と同じになります。

カーソル

1. カーソルA

各データ項目毎のカーソルAの指しているデータ値をグラフ下にあるシートの「インターバルデータ」欄に表示します。

2. カーソルB、C

カーソルB-C間の各データ項目毎の最大値、最小値、平均値、積算値としてグラフ下にあるシートに表示されます。但し、積算値は各電力の積算値データのみ有効です。またカーソルB-C間の積算データはパソコンの演算上、日報データの積算値と若干異なる場合があります。

カーソル表示の左のチェックボックスをクリックするとカーソル表示の表示/非表示を切り換えることができます。

通信ソフトの操作について

4. シート表示について

インターバルシート

編集データの選択で決定した日のインターバルデータをシート表示します。またインターバルデータのみ“データ選択”を押すと項目選択画面が表示されお客様の必要なデータと時間のみシートに表示することができます。

日報シート

編集データの選択で決定した日の日報データをシート表示します。

停電シート

編集データの選択で決定した日の停電データをシート表示します。

5. 操作の流れ

■ 操作上の注意

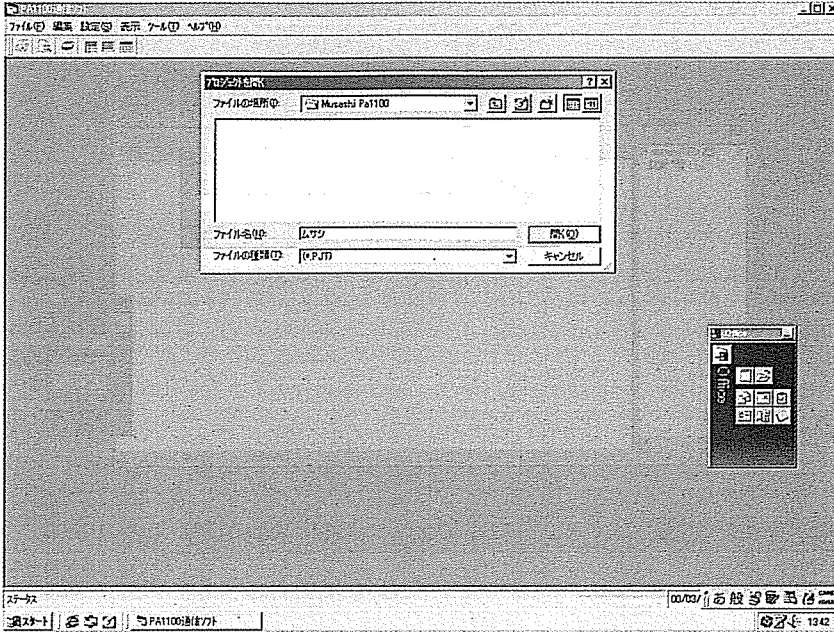
ユーザー名登録について

同一フォルダ内で複数のプロジェクトファイルを作成するときは必ず別名でユーザー名登録をしてください。登録してしまいますと次回プロジェクトファイルを開くときにユーザー登録を編集削除しますのでご注意ください。

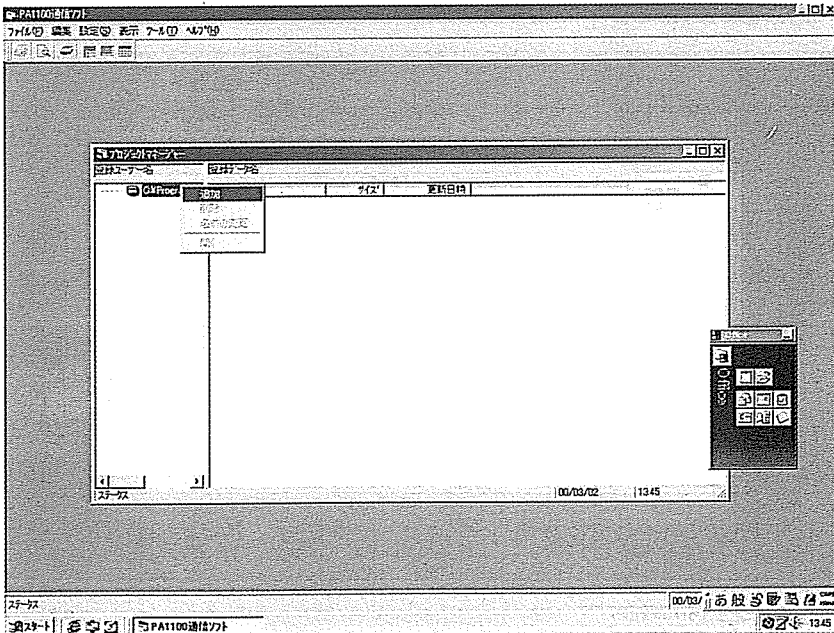
通信ソフトの操作について

■ プロジェクトファイルを作成・開く

- ①メニューの「ファイル→プロジェクトを開く」をクリックします。「プロジェクトを開く」ダイアログボックスのファイル名入力ボックスにムサシと入力し〔開く〕をクリックします。(ムサシは仮のプロジェクト名です。)

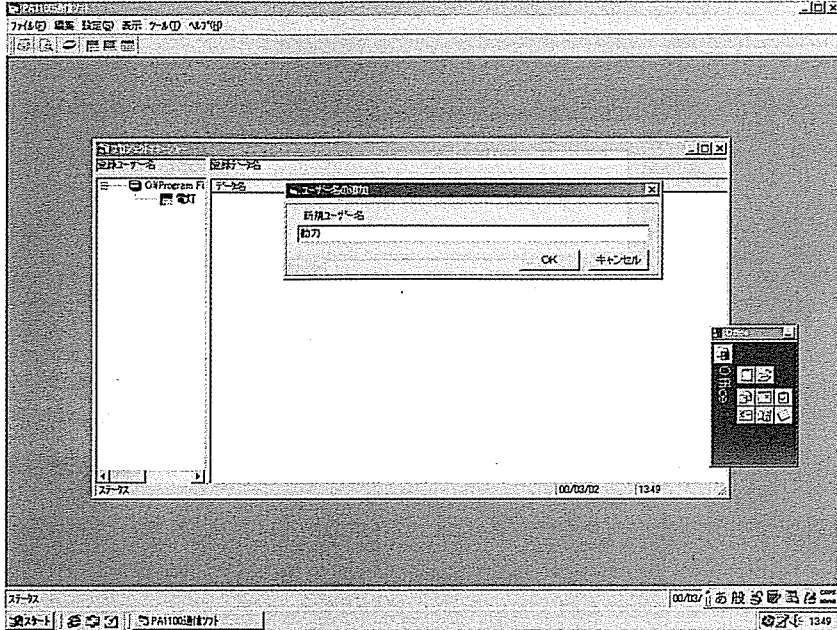


- ②「プロジェクトマネージャー」ツリーウィンドウに「ムサシ .jpt」と表示されます。「ムサシ .jpt」上でマウスの右ボタンをクリックし「追加」を選択します。

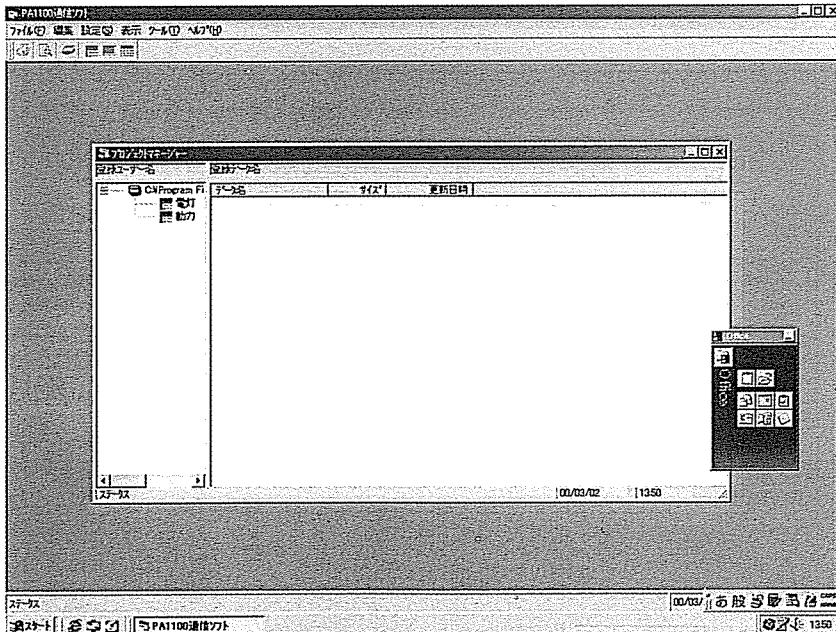


通信ソフトの操作について

- ③ 「ユーザー名の追加」ダイアログボックスに電灯と入力し〔OK〕をクリックします。同時に動力も追加します。
（電灯及び動力は仮のユーザー名です。）

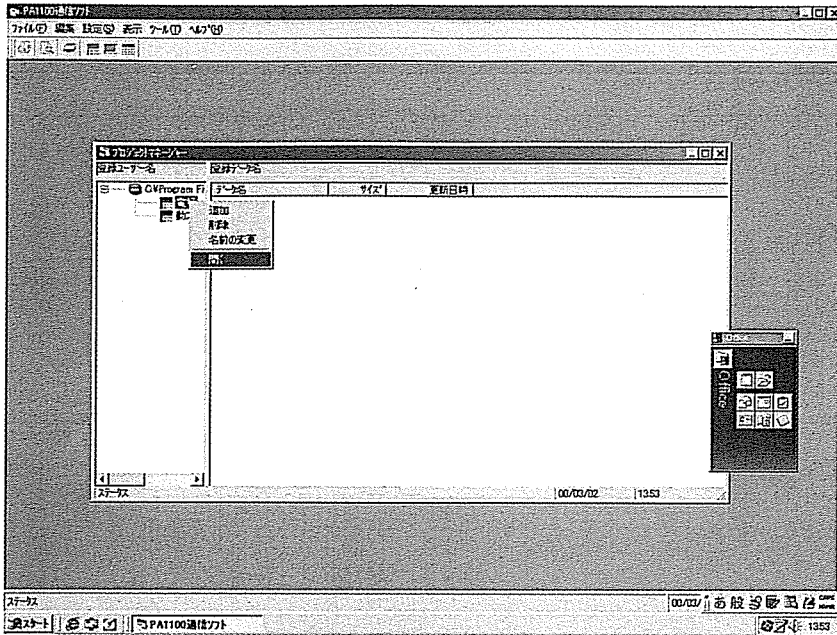


- ④ ツリーウィンドウの表示は以下のようになりムサシの電灯と動力のユーザー登録が完了しました。



通信ソフトの操作について

- ⑤ユーザー登録が完了したらツリーウィンドウの電灯上でマウスの右ボタンをクリックして「開く」を選択します（マウスの左ボタンをダブルクリックでも可能です）。この状態になると本体との通信が可能な状態となります。

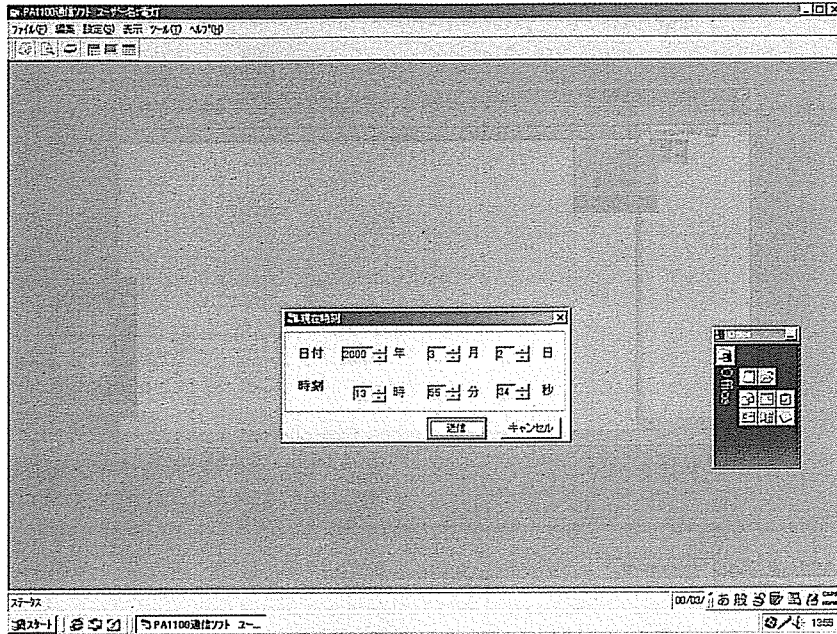


通信ソフトの
操作について

通信ソフトの操作について

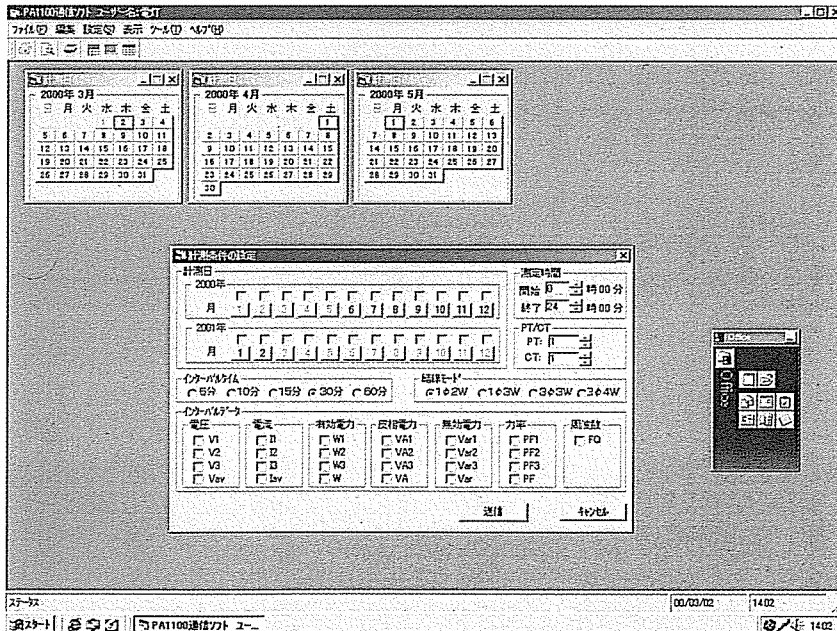
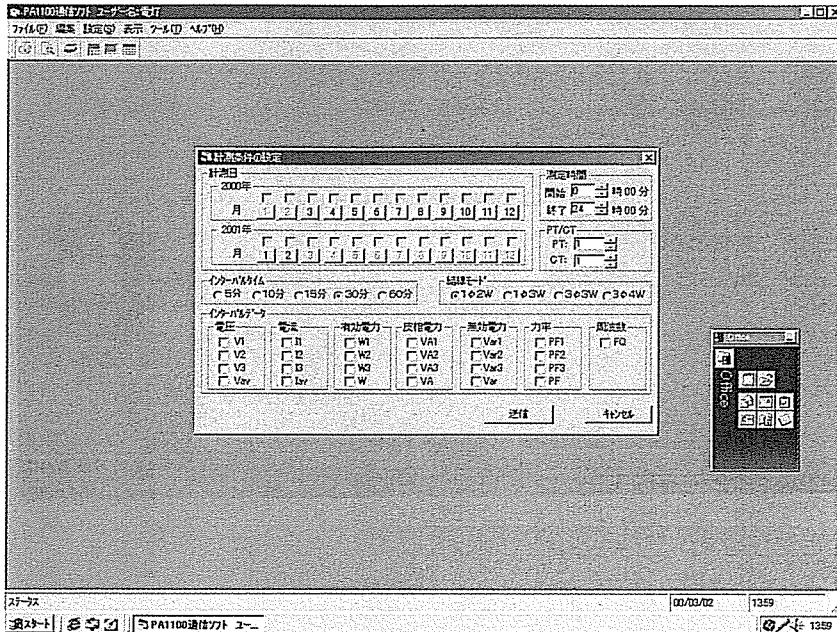
■ 本体へ設定します

- ① 本体の通信モードをパソコンにし瞬時画面になっていることを確認してください。
- ② まず時計の設定を行います。メニューの「設定→時計」をクリックします。今のパソコンのシステム時間が表示されますのでそれで良かったらそのまま「送信」をクリックします。



通信ソフトの操作について

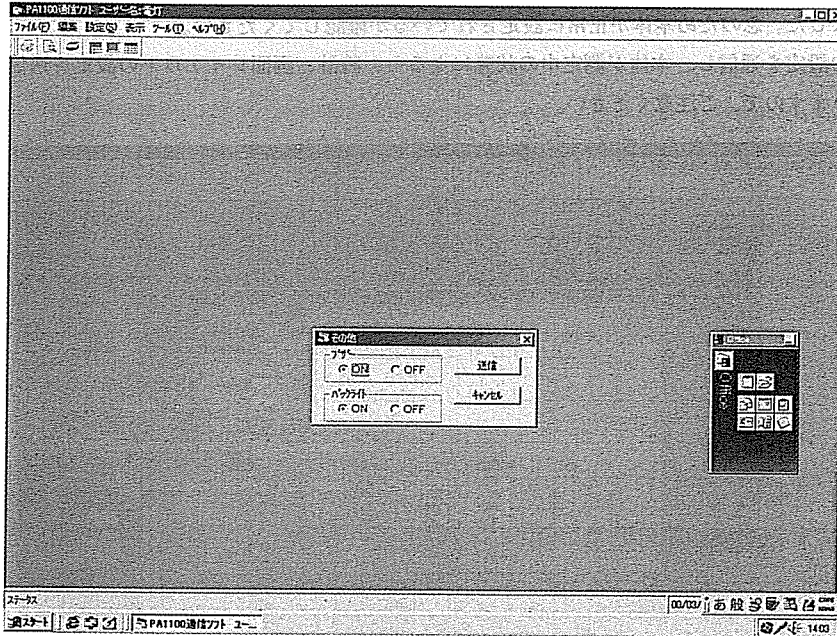
- ③次に計測条件の設定をします。メニューの「設定→計測条件の設定」をクリックします。まず計測日を決定します。計測したい月のボタンを押しカレンダーを表示させます。次にその計測したい日付のボタンをクリックします。するとボタンが水色に変わります。但しここでは「送信」はクリックしないでください。その他の項目も必ず選択して「送信」ボタンをクリックすると計測条件を送信します。これで本体に計測条件が設定されました。念のため本体が正常に設定されているか確認してください。
- ※測定条件の設定を通信し、本体が測定中の状態になると、時計、画面レイアウトの設定を送信することができなくなりますので、ご注意ください。



通信ソフトの操作について

通信ソフトの操作について

- ④ 本体のブザーやバックライト機能も本通信ソフトから設定することができます。メニューの「設定→その他」をクリックします。すると下図のシートが表示されます。お客様の都合に合わせて設定を変更し「送信」をクリックしてください。



通信ソフトの
操作について

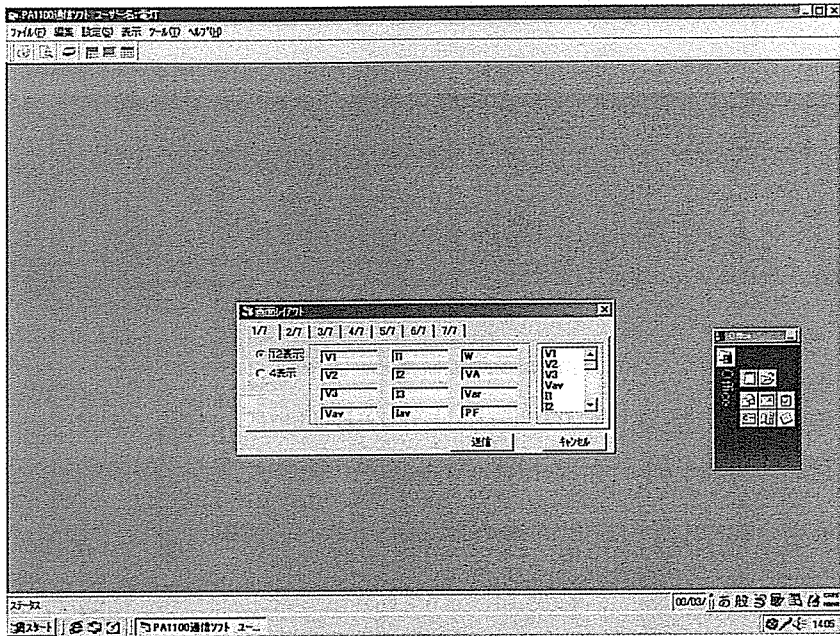
通信ソフトの操作について

⑤ 本体の画面表示を本通信ソフトから設定することができます。メニューの「設定→画面レイアウト」をクリックします。すると下図のシートが表示されます。4表示とは1画面に4項目表示するスタイルで12表示は1画面に12項目表示するスタイルです。表示したい項目をリストの中からマウスの右ボタンを押したまま左の項目リストに挿入します。

設定したいレイアウトが決まりましたら「送信」をクリックしてください。

※1. 本体の画面レイアウトは1度瞬時画面から設定などの階層画面に入らないと切り替わりません。

※2. 計測中は、パソコンからの設定はできません。



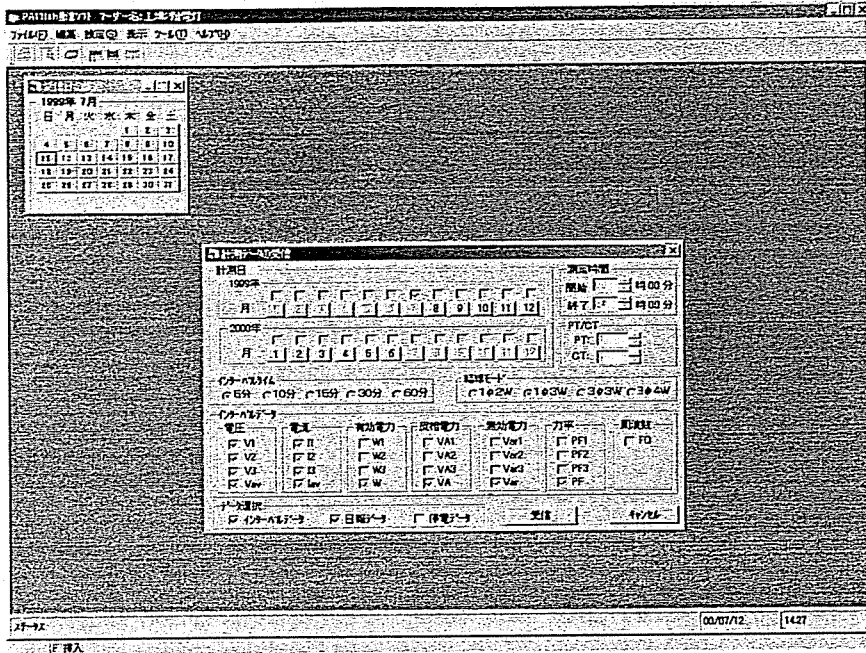
通信ソフトの
操作について

通信ソフトの操作について

■ 本体から計測データを受信します

① 本体に計測データが取れていたら計測データの受信が可能となります。

ではここで計測データの受信を試みます。アイコンの「計測データの読込」をクリックします。自動的に計測状態を受信し下図のシートが表示されます。もし計測データがあると計測日の月のボタンの上にチェックマークが表示されます。そのマークの付いている月ボタンをクリックするとカレンダーが表示されます。そのカレンダーには計測データのある日が水色に変わっていますのでお客様の受信したい日とデータ選択内の受信したいデータを選び「受信」をクリックすると本体から計測データが送られてきます。受信が完了するとカレンダーの色が水色から赤色に変わります。これで受信が完了しました。



② 受信が完了しましたら「キャンセル」をクリックしてください。

通信ソフトの操作について

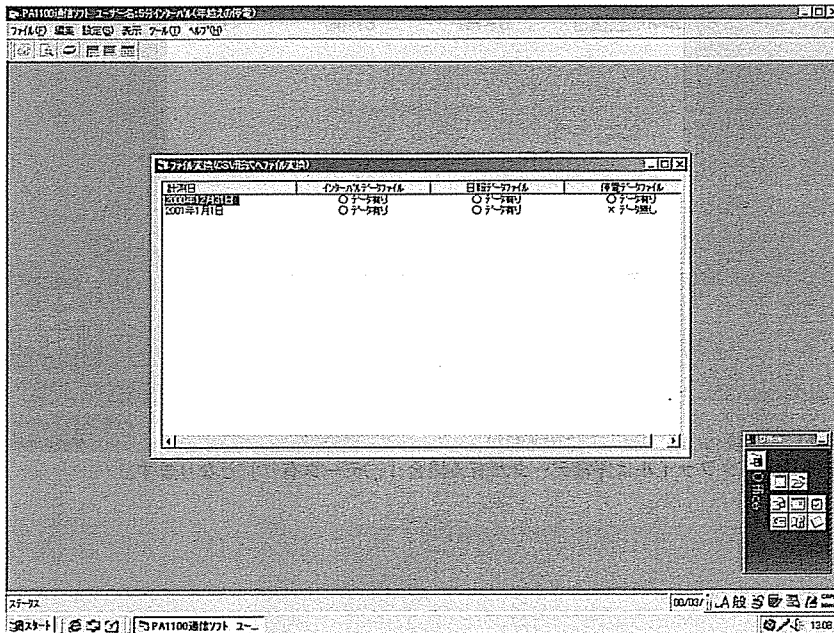
■ 計測データをデータ変換します

①計測データが受信できると「Excel」や「Lotus」などの表計算ソフトへのデータ変換ができます。ではデータ変換をやってみましょう。

メニューの「ファイル→データ変換」をクリックします。すると下図のシートが表示されます。このシートの中からデータ変換したい日を選びマウスを右クリックします。すると「決定」が表示されますのでそれをクリックすると自動的にファイル変換を開始します。

ファイル変換が終了すると「*日分のデータファイルをCSV変換しました。」というウィンドウがでます。

変換したデータを表計算ソフトでみたいときはメニューの「ファイル→プロジェクトを閉じる」をクリックし本通信ソフトを終了します。変換したデータファイルはプロジェクトファイルを作った場所の「ユーザー名の計測データ」というフォルダ内に入っています。



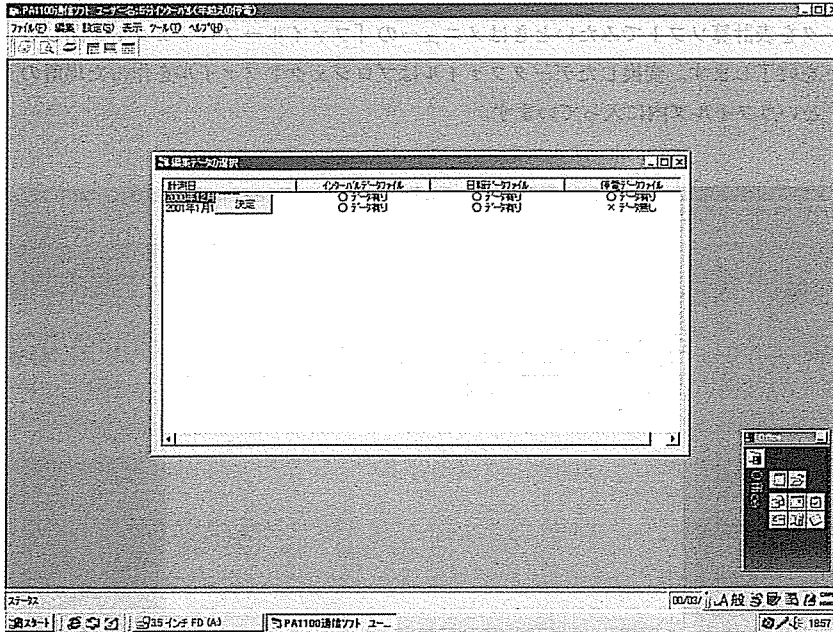
※停電データファイルは停電データが有る場合「○データ有り」となります。

通信ソフトの操作について

計測データをシート表示します

①受信した計測データもしくは以前の計測データをシート表示ができます。

ではシート表示をやってみましょう。アイコンの「編集データの選択」をクリックします。すると下図の画面が表示されます。この画面の中から編集したいデータ日をクリックし、マウスを右クリックすると「決定」が表示されます。それをクリックするとデータ日が決定されます。(マウスの左ボタンをダブルクリックしても決定できます)

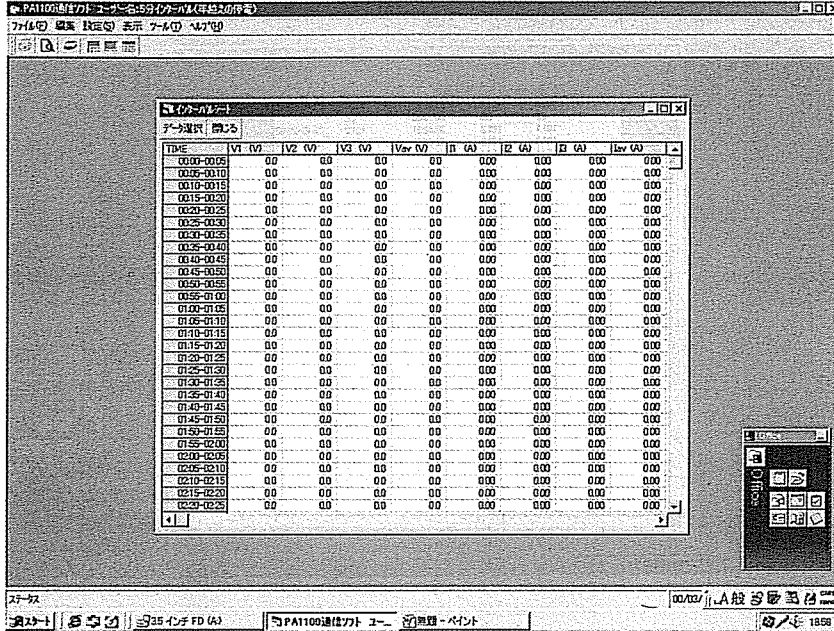


※停電データファイルは停電データが有る場合「○データ有り」となります。

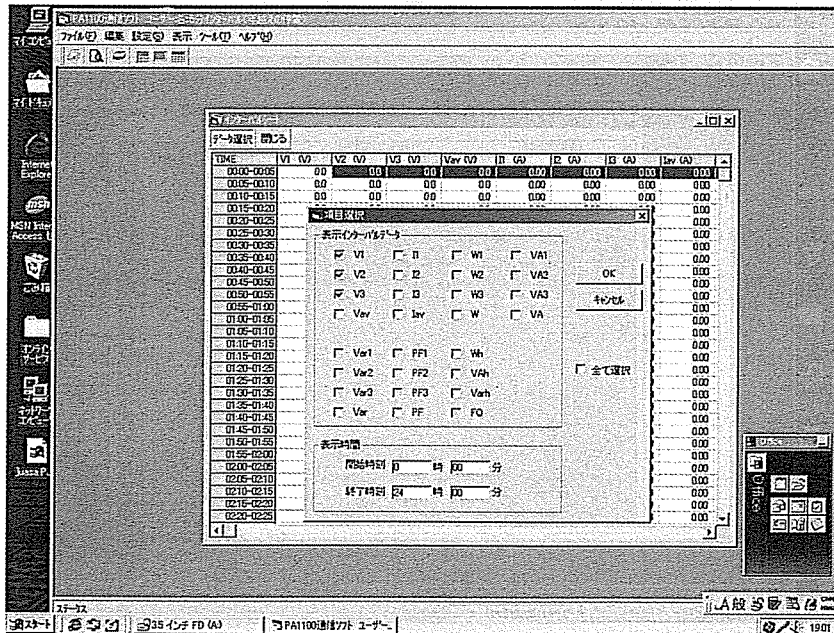
通信ソフトの操作について

②次にアイコンの「シート項目」をクリックします。するとインターバルデータ、日報データ、停電データを選択するメニューが表示されます。

ではここでインターバルデータ（編集データの選択でインターバルデータのある日を選択したことを前提）を選択します。すると下図のシートが表示されます。



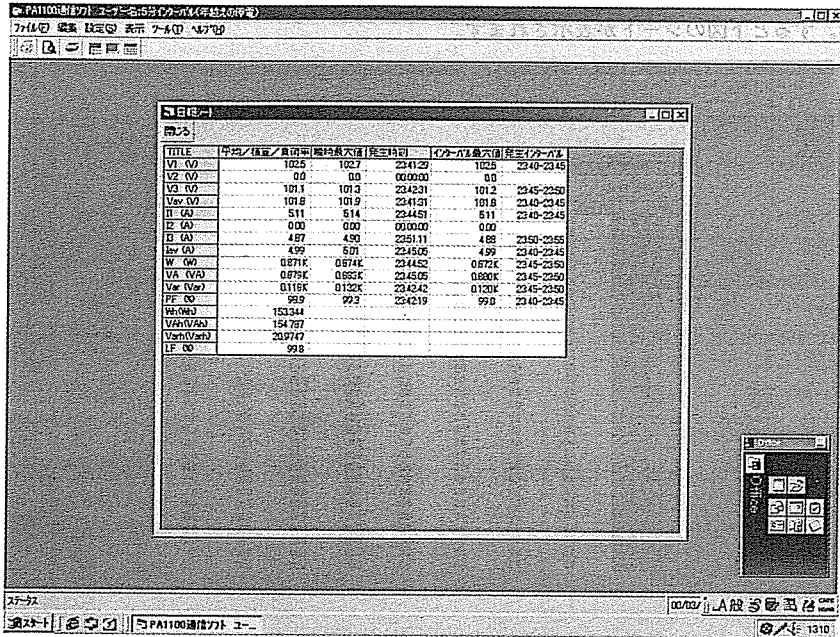
③もし項目の変更をしたい場合はシート表示画面の「データ選択」をクリックします。すると下図の画面が表示されます。次に編集したいインターバルデータをチェックして設定してください。また、必要に応じて表示開始時刻及び表示終了時刻の設定をし「OK」をクリックするとシートの内容が変更します。



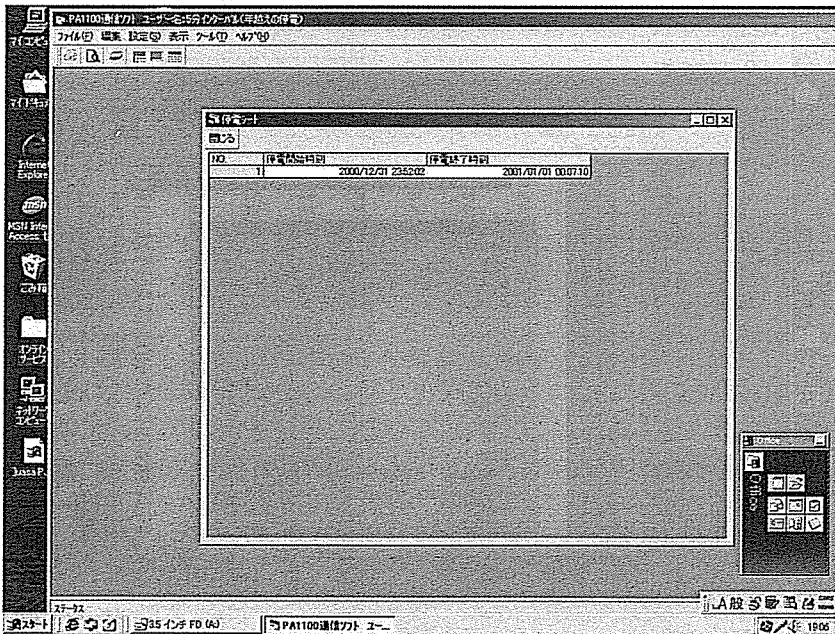
通信ソフトの操作について

通信ソフトの操作について

④次に日報シートを表示します。インターバルデータと同様にアイコンの「シート項目」をクリックします。ここで日報データを選択します。すると下図のシートが表示されます。



⑤次に停電シートを表示します。インターバルデータと同様にアイコンの「シート項目」をクリックします。ここで停電データを選択します。すると下図のシートが表示されます。

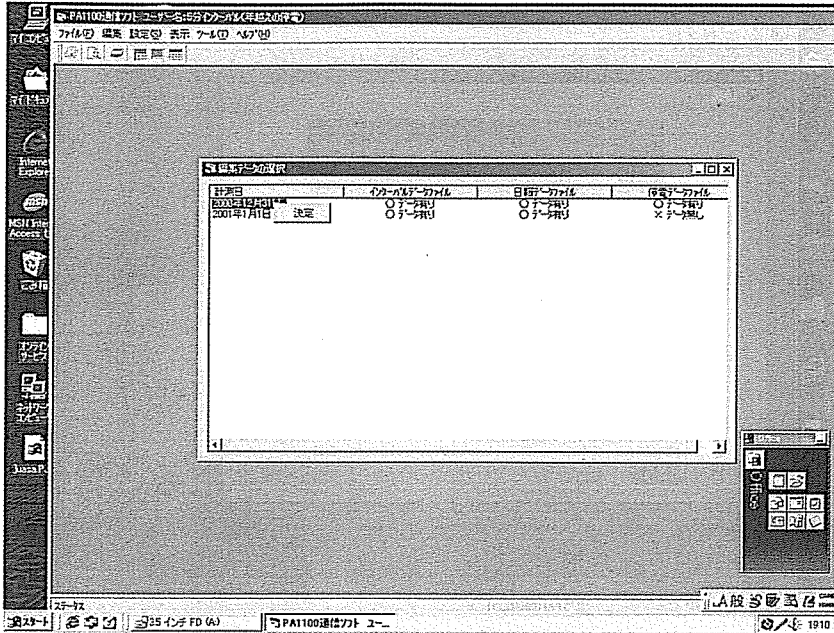


通信ソフトの
操作について

通信ソフトの操作について

■ 計測データをグラフ表示します

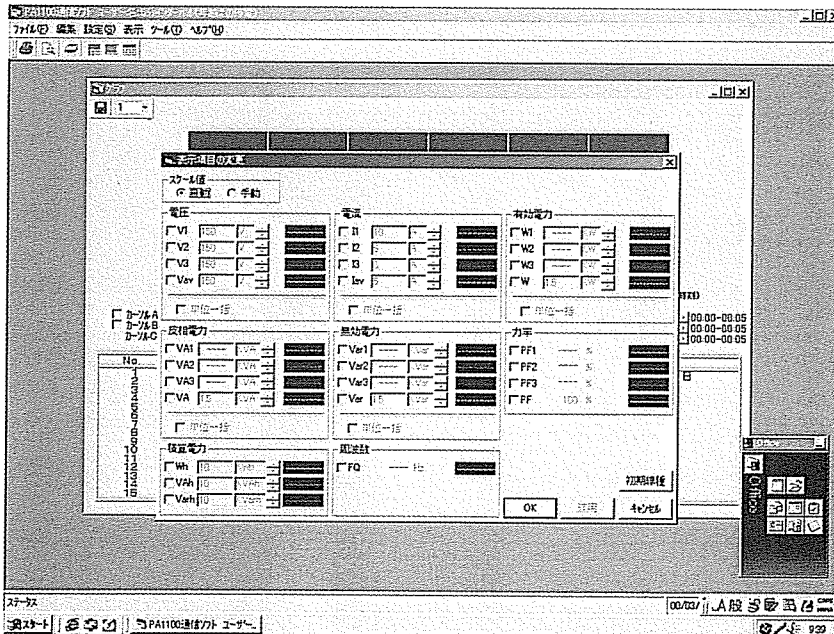
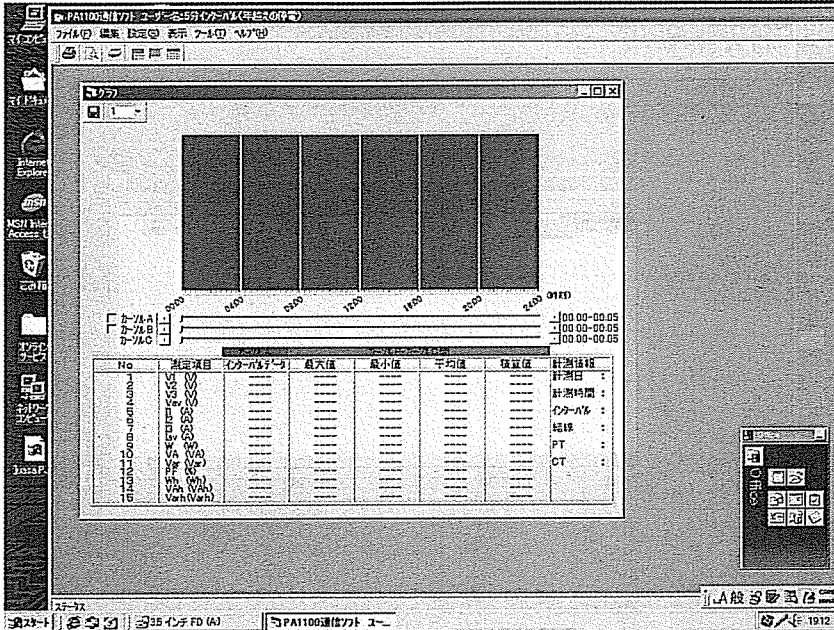
- ①受信した計測データもしくは以前の計測データをグラフ表示できます（インターバルデータのみ）。
ではグラフ表示をしてみましょう。シート表示と同様に編集データ日を決定します。



※停電データファイルは停電データがある場合「○データ有り」となります。

通信ソフトの操作について

②次にアイコンの「グラフ表示」をクリックします。すると何もデータのないグラフが表示されます。実際にグラフにデータを反映するには、4章の3「グラフ機能」をよくお読みになりお客様の仕様に合ったフォーマットで表示させていただきます。



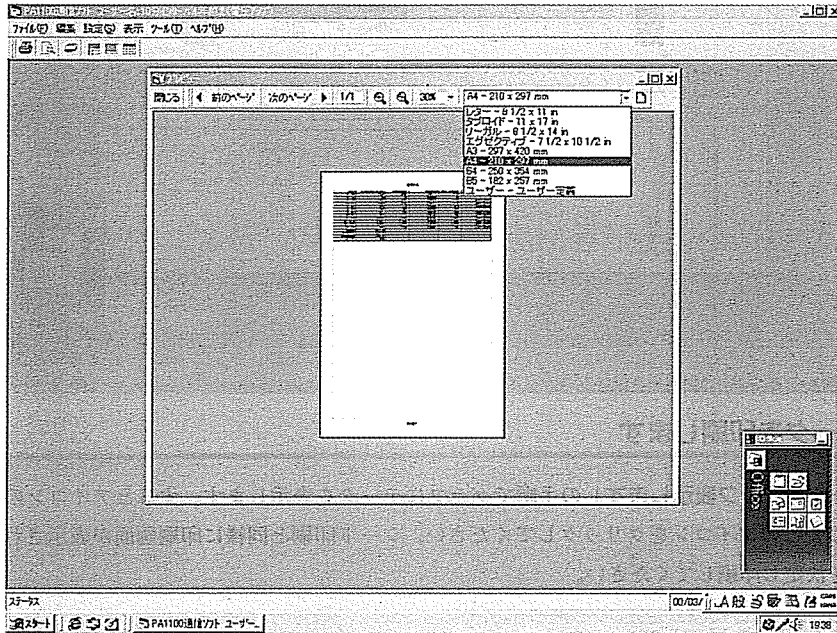
通信ソフトの操作について

通信ソフトの操作について

■ シートデータを印刷します

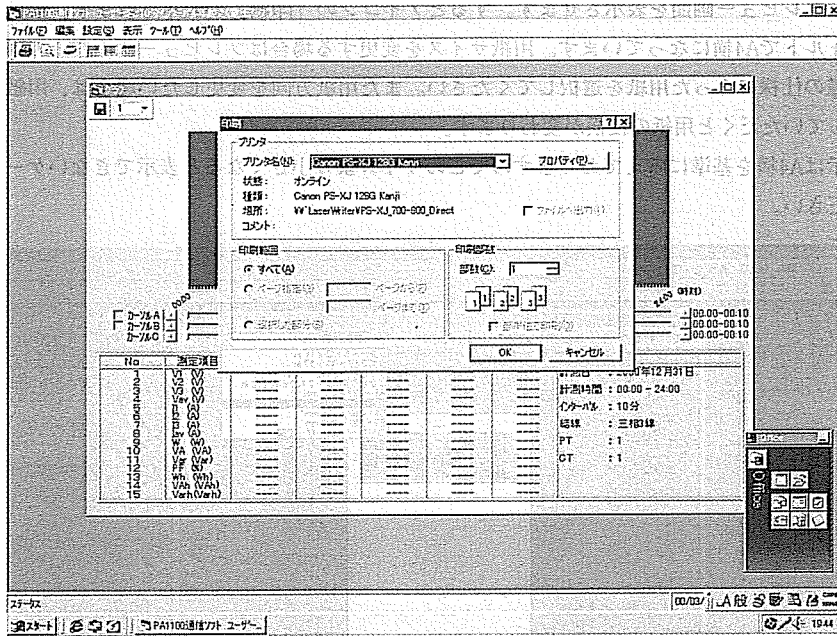
- ① 「■計測データをシート表示します」の手順でシートにデータを表示します。次にアイコンの「プレビュー」をクリックしプレビュー画面を表示させます。するとアイコンの「印刷」が表示されます。用紙サイズと用紙方向はデフォルトでA4横になっています。用紙サイズを変更する場合はプレビュー画面右上の用紙サイズリストからお客様の仕様にあった用紙を選択してください。また用紙方向を変更したい場合は、用紙方向アイコンをクリックしていただくと用紙の縦横が変わります。

※シート表示はA4横を基準に考えておりますのでこのサイズより小さくなると表示できないケースがあるのでご注意ください。



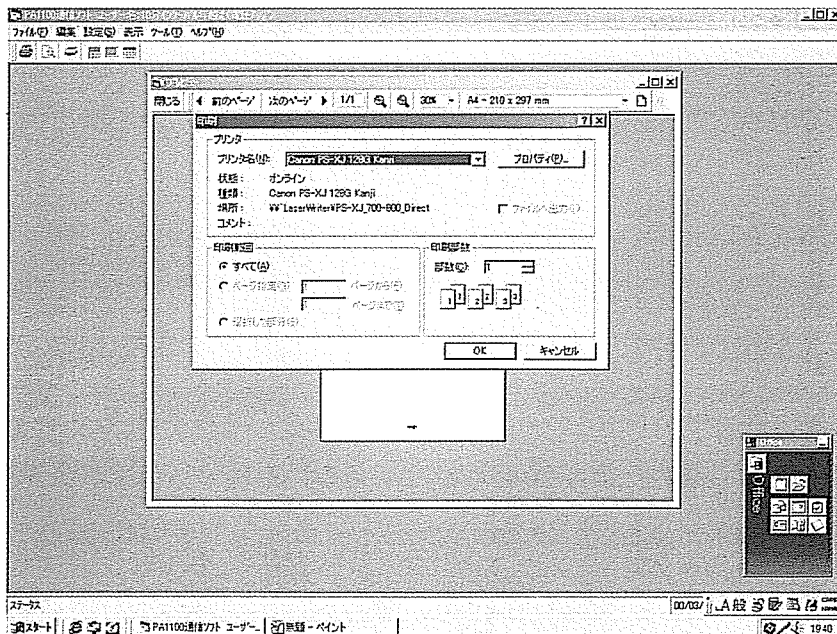
通信ソフトの操作について

- ② 「印刷」のアイコンがクリックされると下図の印刷画面が表示されます。印刷したいページや部数を選択し印刷してください。



■ グラフデータを印刷します

- ① 「■計測データをグラフ表示します」の手順でグラフにデータを表示します。するとアイコンの「印刷」が表示されますのでこのアイコンをクリックしてください。シート印刷と同様に印刷画面が表示されますので印刷したい部数を決めし印刷してください。



製品に関するお問い合わせ先

- | | |
|------------|------------------|
| ■ お客様苦情窓口 | ☎ 0120-634-109 |
| ■ 技術サービス | TEL.042-934-8586 |
| ■ アフターサービス | TEL.042-934-3081 |

E-mailアドレス: mi-support@musashi-in.co.jp

当説明書に記載されている仕様をはじめとする、各事項は無断にて変更することもありますので、御了承ください。



Intelligent Technology Corporation.

株式会社 ムサシインテック

本社	〒358-0035 埼玉県入間市大字中神字南狭山918-1	TEL042-934-8585 (代表) FAX042-934-8588
東京営業所	〒202-0023 東京都保谷市新町5-5-20	TEL0422-55-7702 (代表) FAX0422-55-7379
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-3 草野ビル43号館	TEL06-6388-9595 (代表) FAX06-6388-9601
九州営業所	〒816-0811 福岡県春日市 春日公園7-100	TEL092-592-2161 (代表) FAX092-592-2163
南九州出張所	〒861-2221 熊本県上益城郡益城町赤井2161-2	TEL096-286-9721 (代表) FAX092-592-2163
アフターサービス	〒358-0035 埼玉県入間市大字中神字南狭山918-1	TEL042-934-3081 (代表) FAX042-934-6106

ムサシインテックホームページアドレス <http://www.musashi-in.co.jp/>

部品No.441909

定価2,000円・郵送料500円
2,000.3改訂 200-TB